

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	11	コロナ禍において、家族との関わり方がこれまでどおりにはいなくなっているため、利用者と家族の関係や関わりが希薄となっている。面会制限が緩和されるようになった時、どの職員も同じような対応がきちんとできるような体制を整えておく必要がある。	感染症対策として安心、安全面に最大限注意を払いつつ、ご利用者とご家族が、今後も適度に関わりを持ってもらうような支援を施設として行っていきたい。	利用者様との日々のやり取りの中で、家族や顔なじみの方への気持ちや思いを汲んで、職員一同で共有できるようにしたい。家族の思い、意向も確認したうえで安全で満足できる関わり(オンラインTV電話かガラス越し、もしくは仕切りを使っての実際の面談)を持ってもらう支援、環境づくりを行う。	6ヶ月
2	35	防災訓練は地震後の火災によるものを年2回(5月、11月予定)、土砂災害避難訓練を1回行っている。火災は火元が毎回同じキッチンであり、火元を変更するなどいろんなシチュエーションの訓練を行っておいたほうが良い。	年2回の火災による避難訓練はいつもと違うシチュエーションで行ってみることを検討していく。	今年度は、火元がキッチン以外であるパターンの避難訓練と、夜間に介護者が1人で利用者を避難させなければならないパターンの2回行う。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。